

マスターマインドグループ

2022・10・5 重枝 一郎

成功の循環（関係→思考→行動→結果）

※「Sence of Mission 5月ルールとリレーション」参照

ここに、「チーム力」が高まり、個では得ることのできない「アウトプット（結果の質）」を生み出したAチームと、チーム力が十分に発揮されなかったBチームの2つがあったとする。そこにはどんな違いがあるのか、2チームを比べてみる。

この下表を生徒に示して「ゴールを共有」してみるのもよい。

着眼点	Aチーム	Bチーム
メンバーの相互作用	（関係の質） ・お互いを尊重したかかわり方 ・意見の対立を受け入れる心構え （思考の質） ・意見の対立場面で、お互いの考えを尊重し、納得するまで話し合った ・相手の意見を理解しようとした ・合意形成をした	（関係の質） ・メンバー間に遠慮 ・対立を避ける （思考の質） ・多様な意見の相違点を明確にしなかった ・意見を言い合うだけで議論を避けた ・合意形成をしていない
メンバーの参画意識	（行動の質） ・各自の持ち味を発揮して行動した ・チームの決定を守った ・期待を上回る主体的な行動がよい結果を生み、そのことでチームの雰囲気良くなった	（行動の質） ・「誰かがするだろう」という意識が蔓延し、率先した行動があまりなかった ・決めたことをしない人がいてもそれを指摘することもなかった
途中経過でのアウトプット	（結果の質） ・個では生み出せない結果が出せた実感できた ・期待を超えるレベルで、各自が役割を果たしていることに、チームのモチベーションが高まった	（結果の質） ・行動が伴わないので、途中途のアウトプットもしっかりこなかった ・メンバー間で納得したり合意したりする場面が少なかった

マスターマインドグループ

「マスターマインド」（思考の振動）とは、ナポレオン・ヒルの成功哲学用語である。

マスターマインドグループとは、「明確な目標を達成するための2人ないしそれ以上の人たちによる、調和された知恵と努力の協力関係」と定義されている。

成功者と呼ばれる人たちは皆、優秀だが、一人の人間としては限界がある。自分にはない知識や経験をもつ人から刺激や影響を受け合うことで、計り知れない貴重な価値が生まれる。人と人との心がふれあい、波長が合い、調和することは、個では成し得ない結果をもたらす。だから、人間関係の構築が大切であり、そこに、チームになる意義がある。

中学体育祭に向けて、「成功の循環」をつくっていきたい。
私たちも生徒とともに「マスターマインドグループ」になる。